

## 「子供たちの気持ち明るく」



### 大阪市に2千万円 リバー産業が寄付

不動産開発・販売を手掛けるリバー産業が、大阪市の事業「OSAKA光のルネサンスの魅力向上」と「こどもの貧困対策の推進」に計2千万円を寄付し、河啓一社長が19日、市

役所で寄付金の目録を贈呈した。松井一郎市長からは感謝状が贈られた。写真。

河社長は「暗い話が多いので、恵まれない子供たちの気持ちが明るくなってほしい」とあいさつ。松井市長は「毎年、多額の寄付をいただいて心から感謝します。虐待などで厳しい環境に置かれている子供たちの生活が少しでも明るくなるように大切に使用させていただきます」と述べた。

同社は昨年度も、両事業に計2千万円を寄付している。この寄付に対して、公益のために私財を寄付した個人や法人に授与される紺綬褒章を受章し、松井市長から河社長に褒状が伝達された。